

第 178 回 日本循環器学会東北地方会

プログラム

会期：令和6年6月1日（土）午前8時55分より

会場：弘前文化センター 1F・2F

青森県弘前市大字下白銀町19-4 TEL 0172-33-6571

第1会場：1F 大ホール

第2会場：2F 小ホール

第3会場：2F 第3会議室

第4会場：2F 第6会議室

第5会場：1F 第1会議室

会長 富田 泰史

事務局：弘前大学大学院医学研究科 循環器腎臓内科学講座

青森県弘前市在府町5

TEL：0172-39-5057 FAX：0172-35-9190

【参加費】 当日受付にて参加費のお支払いをお願いいたします。
(医師/その他 3,000円、メディカルスタッフ 1,000円、学生/初期研修医 無料)

【単位付与】 循環器専門医資格更新に必要な研修単位：5単位
教育セッション1、2両方の聴講で3単位。これらの付与は現地で行います。
メディカルスタッフの方は必要に応じてHPをご確認ください。

【演題発表】 一般演題：発表時間5分、質疑応答2分

YIA及び学生・初期研修医AWARD：発表時間7分、質疑応答5分

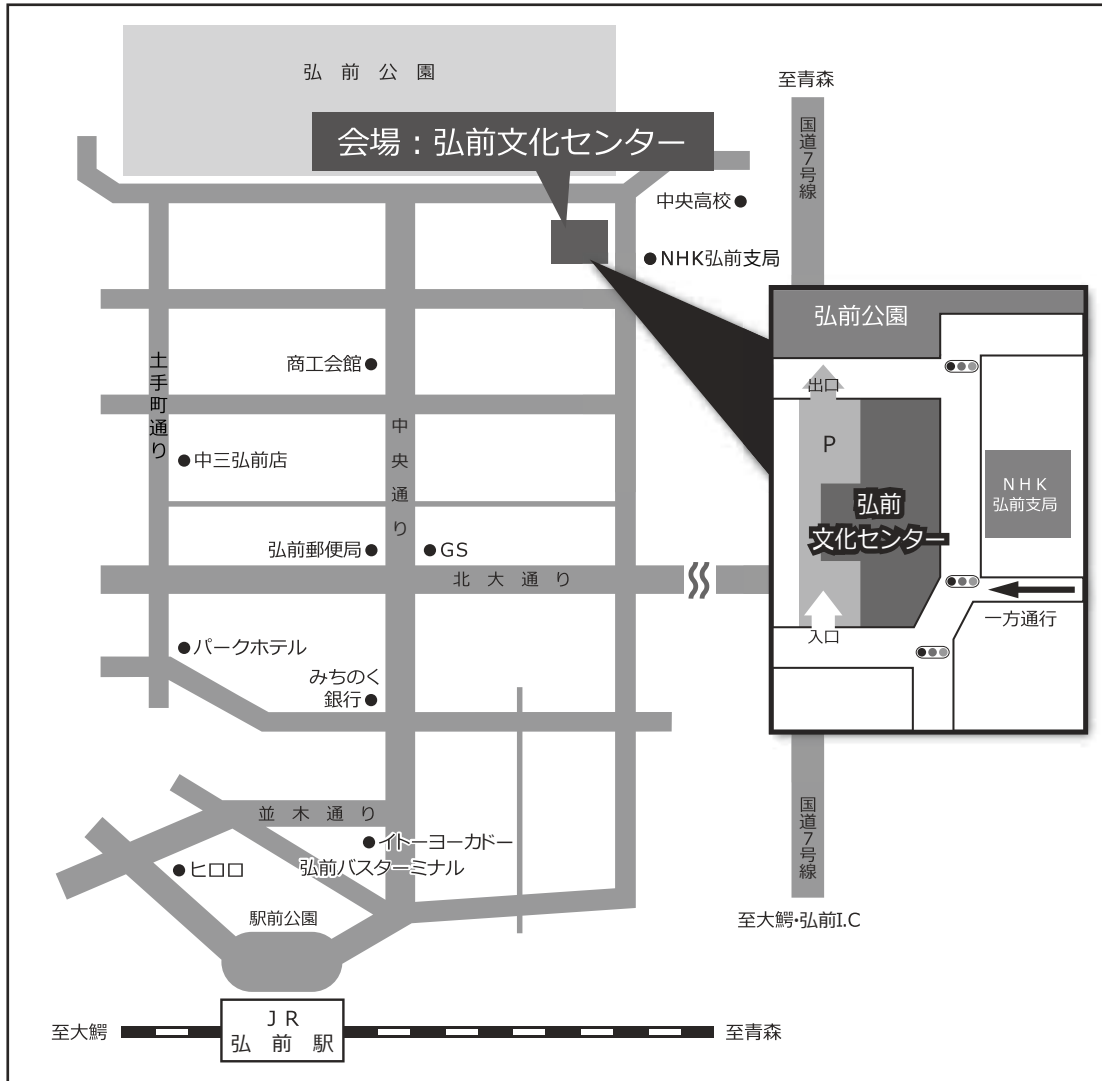
※発表時間は手元の計時機器に表示され、発表時間残り1分前に黄色点灯、終了時に赤色点灯します。

- コンピュータープレゼンテーションによる発表のみとします。
- Windows版PowerPointで作成してください。
- 動画の使用はYIAと学生・初期研修医AWARDでのみ可能です。
- 円滑な進行のため、発表者ツールのご利用はできません。原稿はご自身でご用意ください。
- Macintoshはご自身のPCをご持参ください。(HDMIへの変換を必ずご持参ください)
- 発表30分前までに、作成したデータをUSBメモリに入れてPC受付にお持ちください。
- データのファイル名には演題番号（半角）に続けて発表者の氏名（漢字）を必ずつけてください。
(例：05弘前太郎.ppt)。
- 不測の事態に備えて、必ずバックアップデータをお持ちください。

【託児施設】 本会場内に託児施設を設置いたします。ご希望の方は東北支部HPをご確認ください。

追記：学会案内状・プログラムは、原則として日本循環器学会会費納入者に限り発送いたします。
会場にクロークの設置はございません。

交通のご案内



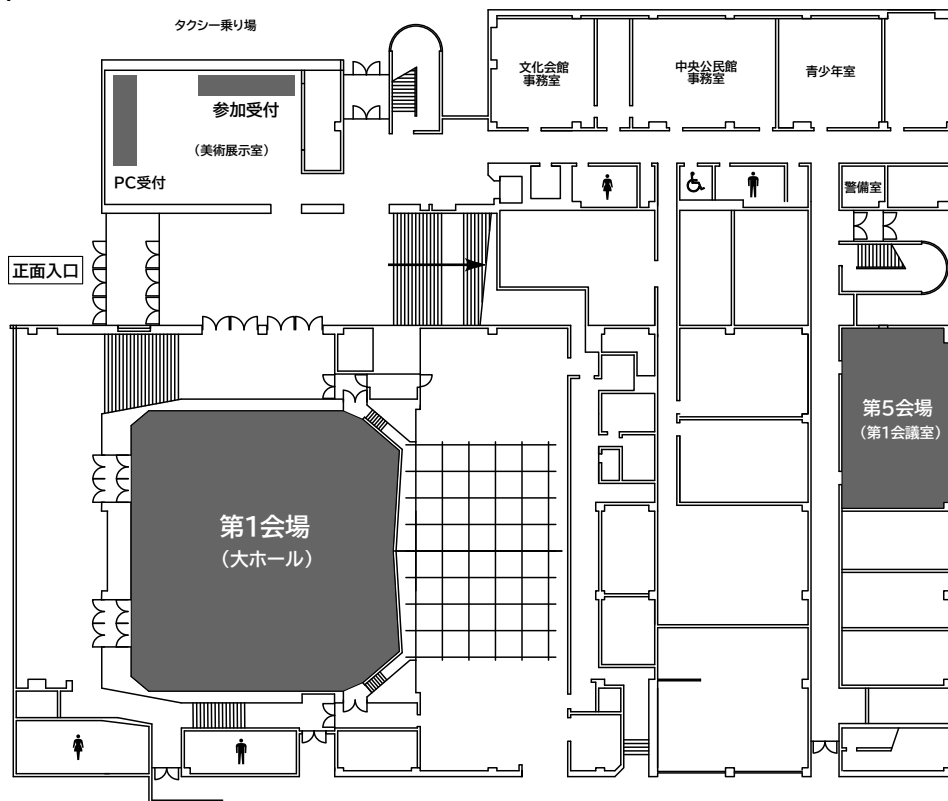
青森空港	車_約60分	弘前文化センター 弘前市大字下白銀町 19-4 TEL0172-33-6571
東北自動車道	大鰐・弘前I.Cから9.7km (車_約30分)	
弘南鉄道	大鰐線「中央弘前駅」下車 徒歩_約15分	
弘前駅	タクシー_約10分 徒歩_約25分 弘南バス_約15分～20分 浜の町方面行 (駅前7番乗場) 文化センター前で下車 土手町循環 100円バス 10:00～18:00 (10分間隔で運行) 詳しくはQRコードへ	



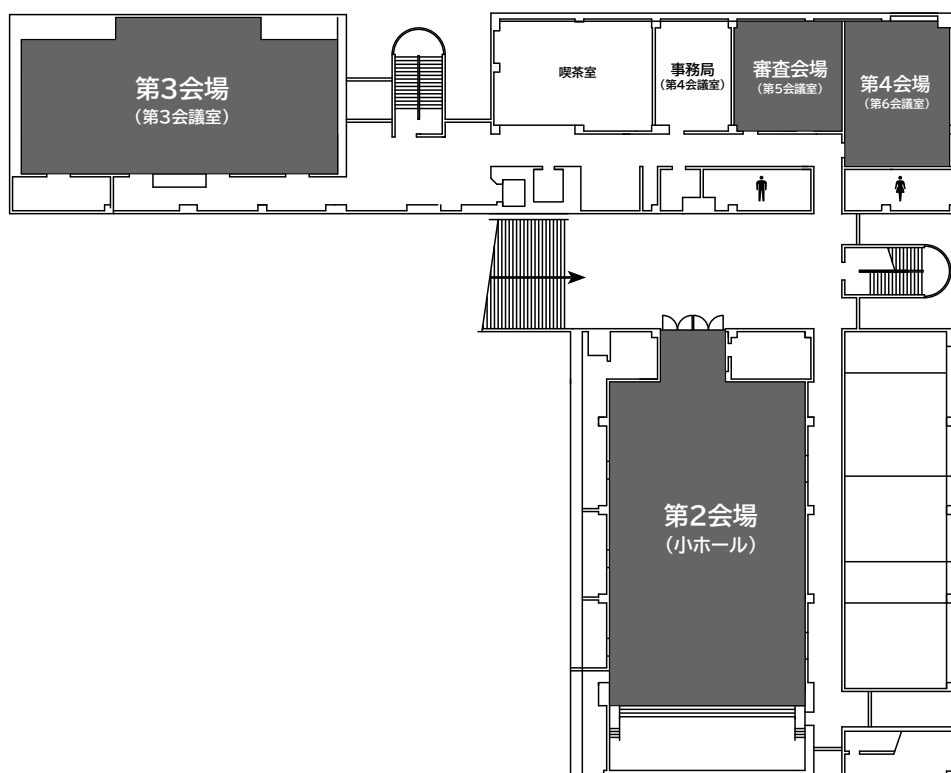
会場案内図

弘前文化センター

1F



2F



プログラム

(敬称略)

	第1会場 1F 大ホール	第2会場 2F 小ホール	第3会場 2F 第3会議室	第4会場 2F 第6会議室	第5会場 1F 第1会議室	審査会場 2F 第5会議室
8:00						
	8:20~ 受付開始					
	8:45~ 入場					
9:00	8:55~ 開会あいさつ					
	9:00~10:00 YIA症例発表部門 座長:富田 泰史 (弘前大学)	9:00~10:00 学生・初期研修医 AWARD発表部門 座長:佐々木 真吾 (弘前大学)	9:00~9:35 末梢血管・その他 座長:高橋 大 (矢吹病院) 座長:遠藤 知秀 (八戸市立市民病院)	9:00~9:35 不整脈 1 座長:伊藤 太平 (弘前大学) 座長:岩川 英弘 (秋田大学)	9:00~9:35 心不全・弁膜症 1 座長:田村 晴俊 (山形大学) 座長:熊谷 亜希子 (岩手医科大学)	
						9:30~10:00 成人先天性心疾患部会
10:00	10:00~10:48 YIA研究発表部門 座長:富田 泰史 (弘前大学)	10:05~10:47 心臓・心筋疾患 座長:尾上 紀子 (仙台医療センター) 座長:梅田 有理 (能代厚生医療センター)	9:40~10:15 虚血性心疾患 1 座長:國井 浩行 (大原総合病院) 座長:舘山 俊太 (青森県立中央病院)	9:40~10:08 不整脈 2 座長:大和田 真玄 (岩手医科大学) 座長:中野 誠 (東北大学)	9:40~10:15 心不全・弁膜症 2 座長:清水 竹史 (福島県立医科大学) 座長:加藤 宗 (秋田大学)	10:00~10:30 学生・初期研修医 AWARD 審査会
			10:20~10:55 虚血性心疾患 2 座長:石田 大 (岩手医科大学) 座長:瀧井 暢 (仙台オーファン病院)	10:13~10:48 先天性心疾患 座長:小渡 亮介 (弘前大学) 座長:上田 寛修 (岩手県立江刺病院)		10:35~10:50 心肺蘇生法普及委員会
11:00						11:00~11:20 YIA審査会
	11:10~12:00 学術セミナー 演者:野田 崇 (東北大学病院) 座長:木村 正臣 (弘前大学)	11:10~12:00 ダイバーシティフォーラム テーマ「仲間の作り方」 演者:永嶋 孝一 (日本大学医学部附属板橋病院) 座長:岩川 英弘 (秋田大学医学部附属病院) 座長:渡部 賢 (山形県立中央病院)	11:10~12:00 成人先天性心疾患セッション 演者:金澤 英明 (東京医科大学茨城医療センター) 座長:大徳 和之 (弘前大学)			11:20~11:50 支部役員会
12:00						
		12:10~13:00 ランチョンセミナー1 演者:安藤 献児 (小倉記念病院) 座長:安田 聡 (東北大学)	12:10~13:00 ランチョンセミナー2 演者:石田 祐司 (弘前大学) 演者:矢野 俊之 (札幌医科大学) 座長:竹石 恭知 (福島県立医科大学)	12:10~13:00 ランチョンセミナー3 演者:横山 公章 (弘前大学) 座長:森野 禎浩 (岩手医科大学)	12:10~13:00 ランチョンセミナー4 演者:及川 雅啓 (福島県立医科大学) 演者:大和田 真玄 (岩手医科大学) 座長:渡邊 博之 (秋田大学)	
13:00						
	13:10~13:40 支部社員総会・評議員会 YIA、学生・初期研修医 AWARD 表彰式					
14:00	13:50~14:35 教育セッション1(臨床) 演者:熊谷 浩司 (東北医科薬科大学) 座長:富田 泰史 (弘前大学)	13:50~15:20 心不全療養指導士 シンポジウム 「となりの県では何してる? 東北6県の 心不全療養指導士の活動」 座長:佐々木 真吾 (弘前大学) 座長:佐藤 みな (弘前大学)				
15:00	14:35~15:20 教育セッション2(基礎) 演者:三阪 智史 (福島県立医科大学) 座長:渡辺 昌文 (山形大学)					

YIA 症例発表部門（第1会場：1F 大ホール）9：00～10：00

座長：富田 泰史（弘前大学）

01 急性冠症候群を契機に診断された分節性動脈中膜融解症の一例

山形大学 医学部 第一内科

○小林 智貴、西山 悟史、飯塚 敦士、小山 響子、枝村 峻佑、小林 祐太、
水戸 琢章、志鎌 拓、須貝 孝幸、橋本 直明、大瀧陽一郎、和根崎真大、
沓澤 大輔、加藤 重彦、田村 晴俊、有本 貴範、高橋 大、渡邊 哲、
渡辺 昌文

02 冠血流評価に心エコーが有効であった右冠動脈起始異常による虚血性心筋症の一例

東北医科薬科大学 循環器内科

○黒柳 浩志、山家 実、杵渕 和志、久野 晴貴、黒瀬 裕樹、長谷川 薫、
長谷部雄飛、菊田 寿、住吉 剛忠、関口 祐子、亀山 剛義、前田 真吾、
小丸 達也、熊谷 浩司

03 心室頻拍ストームに対して緊急カテーテルアブレーションが奏功した甲状腺中毒症の一例

¹弘前大学大学院医学研究科 循環器腎臓内科学講座

²弘前大学大学院医学研究科 不整脈先進治療学講座

○日山 芽維¹、外山 佑一¹、伊藤 太平²、木村 正臣²、濱浦 奨悟¹、
石田 祐司¹、佐々木真吾¹、富田 泰史¹

04 ヘパリン起因性血小板減少症により生じた卵円孔嵌入血栓消退後に卵円孔閉鎖術を施行した脳梗塞の一例

¹福島県立医科大学 循環器内科学講座

²柘記念病院 循環器科

○池田 彩乃¹、八巻 尚洋¹、磯松 大介¹、武藤 雄紀¹、佐藤 悠¹、
及川 雅啓¹、小林 淳¹、比佐 新一²、竹石 恭知¹

05 冠動脈バイパス術後遠隔期に慢性拡張性血腫を来した大伏在静脈グラフトに対して経皮的閉鎖術を行った一例

¹岩手医科大学附属病院 内科学講座 循環器分野

²岩手医科大学附属病院 放射線医学講座

³岩手医科大学附属病院 歯学部 口腔顎顔面再建学講座 歯科放射線学分野

○神長 慶亮¹、金濱 望¹、浅野 峻見¹、木村 優¹、永田 恭平¹、
上田 寛修¹、肥田 頼彦¹、高橋 祐司¹、川島 和哉²、折居 誠²、
田中 良一³、森野 禎浩¹

06 虚血性心疾患患者における夜間の超短期的血圧変動と臨床転帰：脈波伝播時間を用いたアプローチ

¹福島県立医科大学 医学部 循環器内科学講座
²福島県立医科大学 医学部 地域先端循環器病治療学講座
³福島県立医科大学 保健科学部 臨床検査学科

○大橋 尚人¹、三阪 智史^{1,2}、義久 精臣^{1,3}、小河原 峻¹、佐藤 悠¹、
横川 哲朗¹、佐藤 彰彦¹、清水 竹史¹、佐藤 崇匡¹、金城 貴士¹、
及川 雅啓¹、小林 淳^{1,2}、八巻 尚洋¹、中里 和彦¹、石田 隆史¹、
竹石 恭知¹

07 経食道心エコー図による経カテーテル的大動脈弁留置術後の解剖学的弁口面積評価から得られた洞察

岩手医科大学附属病院 内科学講座 循環器内科分野

○島田 佳穂、二宮 亮、佐藤 慎、芳沢美知子、熊谷亜希子、森野 禎浩

08 経静脈植込み型除細動器と皮下植込み型除細動器（S-ICD）の長期有用性の比較検討：傾向スコアマッチ解析

弘前大学大学院医学研究科 循環器腎臓内科学講座

○金野 佑基、佐々木真吾、石田 祐司、外山 佑一、西崎 公貴、金城 貴彦、
伊藤 太平、木村 正臣、富田 泰史

09 発作性心房細動から持続性心房細動への進行が左室駆出率が保たれた心不全（HFpEF）患者の予後に及ぼす影響

¹東北大学医学部医学系研究科

²帝京大学大学院

³国際医療福祉大学大学院

○伊藤 知宏¹、野田 崇¹、後岡広太郎¹、白戸 崇¹、山本 惟彦¹、
佐藤 宏行¹、千葉 貴彦¹、長谷部雄飛¹、中野 誠¹、高濱 博幸¹、
高橋 潤¹、宮田 敏²、下川 宏明³、安田 聡¹

学生・初期研修医 AWARD 発表部門

(第2会場：2F 小ホール) 9:00~10:00

座長：佐々木真吾 (弘前大学)

10 進行肝内胆管細胞癌による冠動脈内の微小血栓・腫瘍塞栓によって心破裂に至った1例

みやぎ県南中核病院 循環器内科

○蛭名 弦人、富岡 智子、塩入 裕樹、田中 修平、井汲 陽祐、堀川 達雄、
小松 茉由、玉那覇有亮、佐藤 諒弥、石塚 充

11 特異な臨床経過を辿ったKounis症候群の一例

仙台市立病院 循環器内科

○山岸 健人、宮下 武彦、縄田 遼、渡部ともみ、鈴木 舞、鈴木 啓資、
中潟 寛、青木 恒介、佐藤 英二、中嶋 壮太、山科 順裕、三引 義明、
石田 明彦、八木 哲夫

12 診断的治療として心膜剥離・切開術を施行したIgG4関連疾患による収縮性心膜炎の1例

¹日本海総合病院 初期臨床研修医

²日本海総合病院 循環器内科

○庄司 陽登¹、襦津 俊介²、齋藤 博生²、高橋 興史²、東海林弘太郎²、
門脇 心平²、菊地 彰洋²、桐林 伸幸²、佐藤 陽子²、近江 晃樹²、
菅原 重生²

13 特異的なCoumel現象を認めた左後中隔副伝導路の一例

¹東北大学医学部 医学科

²東北大学大学院医学系研究科 循環器内科学分野

○野村 優¹、佐藤 宏行²、伊藤 知宏²、山本 惟彦²、千葉 貴彦²、
長谷部雄飛²、中野 誠²、野田 崇²、安田 聡²

14 冠動脈プラークにおける冠動脈周囲脂肪組織の慢性炎症とプラーク内脂質の相関について ～喫煙のインパクト

¹東北医科薬科大学 医学部

²東北医科薬科大学 内科学第一 (循環器内科)

○末永 司¹、小丸 達也²、亀山 剛義²、菊田 寿²、熊谷 浩司²

心膜・心筋疾患（第2会場：2F 小ホール）10：05～10：47

座長：尾上 紀子（仙台医療センター 循環器内科）

座長：梅田 有理（能代厚生医療センター 循環器内科）

15 Noonan症候群に伴う閉塞性肥大型心筋症に対し心筋切除術を行った一例

¹能代厚生医療センター 循環器内科

²川崎幸病院 川崎心臓病センター 外科

³秋田大学大学院医学系研究科 循環器内科学講座

○梅田 有理¹、高梨秀一郎²、戸嶋 優¹、関 みちる¹、若木 富貴¹、
木村 州孝¹、渡邊 博之³

16 Aerococcus urinae菌血症に続発した感染性心内膜炎の一例

石巻赤十字病院

○澤田 拓実、齋藤 悠司、中島 侑政、豊嶋 麻集、片脇 航、豊島 拓、
熊谷 遊、高橋 徹也、山中 多聞

17 デバイス管理におけるかかりつけ医との情報共有の重要性が示唆された拡張相肥大型心筋症の一例

弘前大学大学院医学研究科 循環器腎臓内科学講座

○千葉 元貴、石田 祐司、濱浦 奨悟、外山 佑一、伊藤 太平、木村 正臣、
佐々木真吾、富田 泰史

18 呼吸曲線を用いた心エコーが収縮性心膜炎の診断の一助となった一例

¹鶴岡市立荘内病院

²日本海総合病院

○渡部 尚輝¹、石垣 大輔¹、樫村 圭亮¹、長島 義宜¹、佐藤 匡¹、
新井 秀佑²、廣岡 秀人²、金 哲樹²、内野 英明²

19 たこつぼ型心筋症をきたした褐色細胞腫の一例

弘前大学大学院医学研究科 循環器腎臓内科学講座

○岩間 拓史、澁谷 修司、加藤 朋、對馬 迪子、妹尾麻衣子、成田 憲紀、
市川 博章、西崎 史恵、花田 賢二、横山 公章、富田 泰史

20 高齢発症全身性エリテマトーデス性心膜炎の1例

寿泉堂総合病院

○佐竹 颯太、水上 浩行、大橋 尚人、谷川 俊了

末梢血管・その他（第3会場：2F 第3会議室）9：00～9：35

座長：高橋 大（医療法人社団 清水会 矢吹病院）

座長：遠藤 知秀（八戸市立市民病院 循環器内科）

21 母児ともに救命し得た妊娠初期の重症肺血栓塞栓症の一例

秋田大学大学院医学系研究科 医学専攻機能展開医学系 循環器内科学講座

○小林 雄紀、加藤 宗、畠山 葉月、山中 卓之、岩川 英弘、田代 晴生、
佐藤 和奏、佐藤 輝紀、高木 祐介、鈴木 智人、寺田 健、渡邊 博之

22 経皮的冠動脈形成術後のコレステロール結晶塞栓症に対するLDLアフェレーシスが奏功した一例

¹大館市立総合病院

²弘前大学大学院医学研究科 循環器腎臓内科学講座

³秋田大学大学院医学系研究科 循環器内科学講座

○貝森 亮太¹、成田 真人¹、鈴木 豪¹、對馬 迪子¹、富田 泰史²、
渡邊 博之³

23 レオカーナにより改善を認めた結節性多発動脈炎による難治性潰瘍の1例

星総合病院 循環器内科

○中村 裕一、岡部 亮斗、笠原 慎也、佐藤勇太郎、大原妃美佳、國分 知樹、
松井 佑子、坂本 圭司、越田 亮司、三橋 武史、渡辺 直彦、木島 幹博

24 下肢静脈瘤由来の重症肺血栓塞栓症に対して下大静脈フィルター留置し肺動脈への再塞栓を防いだ一例

¹石巻赤十字病院

²自衛隊仙台病院

○中島 侑政^{1,2}、山中 多聞¹、高橋 徹也¹、熊谷 遊¹、豊島 拓¹、
片脇 航¹、豊嶋 麻集¹、齋藤 悠司¹、澤田 拓実¹

25 オンライン会議に基づく外来心臓リハビリテーション協力体制

¹山形大学医学部内科学 第一講座

²山形済生病院 循環器内科

³みゆき会病院 循環器内科

⁴北村山公立病院 循環器内科

⁵篠田総合病院 循環器内科

○小林 祐太¹、有本 貴範¹、沓澤 大輔¹、山口 竜平¹、須貝 孝幸¹、
穴戸 哲郎²、山内 聡³、野崎 直樹⁴、池田こずえ⁵、渡邊 哲¹、
渡辺 昌文¹

虚血性心疾患1 (第3会場:2F 第3会議室) 9:40 ~ 10:15

座長: 國井 浩行 (大原総合病院 循環器内科)

座長: 舘山 俊太 (青森県立中央病院 循環器内科)

26 ACSに対してprimary PCI後におけるARNIの有効性

寿泉堂総合病院

○渡部 瞬、水上 浩行、大橋 尚人、谷川 俊了

27 労作時胸痛およびST上昇型急性心筋梗塞の所見を呈した冠攣縮性狭心症の一例

¹青森県立中央病院 循環器内科

²青森県立中央病院 心大血管リハビリテーション科

○鹿内 駿¹、安藤 桃子¹、千葉 元貴¹、三木 祐澄¹、川村 陽介¹、
鈴木 晃子¹、舘山 俊太¹、榎引 基¹、今田 篤²

28 免疫抑制療法および冠動脈入口部パッチ形成術により治療した高安動脈炎に伴う不安定狭心症の一例

¹福島県立医科大学 循環器内科学講座

²福島県立医科大学 リウマチ膠原病内科学講座

³榊原記念病院 心臓血管外科

⁴榊原記念病院 循環器内科

○鈴木 喜敬¹、清水 竹史¹、西浦 司人¹、菅原由紀子¹、浅野 智之²、
小林 淳¹、中里 和彦¹、高梨秀一郎³、磯部 光章⁴、竹石 恭知¹

29 冠攣縮に起因する右冠動脈内の血栓形成により発症したと考えられたST上昇型心筋梗塞の一例

弘前大学大学院医学研究科 循環器腎臓内科学講座

○梅崎 仁志、花田 賢二、加藤 朋、對馬 迪子、成田 憲紀、妹尾麻衣子、
市川 博章、澁谷 修司、横山 公章、富田 泰史

30 アスピリン喘息と思われる発作により誘発され、ステロイドが効果的だった冠攣縮性狭心症の一例

青森市民病院 循環器内科

○丹野 倫宏、山崎 堅、三浦 尚武、藤田 紀生、森 康宏

虚血性心疾患2 (第3会場:2F 第3会議室) 10:20 ~ 10:55

座長:石田 大 (岩手医科大学 内科学講座 循環器内科分野)

座長:瀧井 暢 (仙台オープン病院 循環器内科)

31 ECPPELLA 抜去後、残枝CTO病変に対するPCI待機中にVTを発症しImpellaを再挿入した症例

八戸市立市民病院

○目時 美雪、濱舘 美里、遠藤 知秀、堀内 大輔、松井 宏光

32 左前下行枝の一過性虚血が心室頻拍と完全房室ブロックを引き起こした1例

¹秋田大学 大学院医学系研究科 医学専攻機能展開医学系 循環器内科学講座

²JA秋田厚生連 由利組合総合病院 循環器内科

○久米 翔弥¹、寺田 健¹、鈴木 智人¹、高木 祐介¹、田代 晴生¹、
工藤 廣大¹、若林 飛友¹、鈴木 真由¹、小野 優斗¹、佐藤 和奏¹、
中西 徹²、渡邊 博之¹

33 たこつぼ型心筋症様の心筋障害を呈した冠攣縮性狭心症の若年女性の一例

青森県立中央病院 循環器内科

○安藤 桃子、舘山 俊太、千葉 元貴、三木 祐澄、鹿内 駿、中田 真道、
川村 陽介、鈴木 晃子、今田 篤、櫛引 基

34 心室細動を生じた無痛性冠攣縮の1例

東北大学 循環器内科学

○神戸 茂雄、小山あずさ、船木 崇裕、大山 宗馬、進藤 智彦、西宮 健介、
羽尾 清貴、白戸 崇、高橋 潤、安田 聡

35 心筋梗塞患者のHbA1cによる糖尿病管理

仙台市医療センター仙台オープン病院 循環器内科

○浪打 成人、砂村慎一郎、谷田 篤史、尾形 剛、野田 一樹、瀧井 暢

不整脈1 (第4会場: 2F 第6会議室) 9:00 ~ 9:35

座長: 伊藤 太平 (弘前大学 不整脈先進治療学講座)

座長: 岩川 英弘 (秋田大学 循環器内科学講座)

36 Koch三角部の高密度マッピングが有用であった高齢者の房室結節リエントリー性頻拍の1例

岩手医科大学 内科学講座 循環器内科

○永田 恭平、佐々木拓渡、漆久保 敬、澤 陽平、芳沢 礼佑、大和田真玄、
森野 禎浩

37 中心静脈へ挿入したDECANAVI™カテーテルがPVCの起源同定の一助となった1例

大崎市民病院 循環器内科

○藤田 壺成、佐竹 洋之、下山 穰、山内 毅、相澤健太郎、圓谷 隆治、
竹内 雅治、岩淵 薫

38 Twiddler症候群をきたしリードレスペースメーカの植え込みを行った1例

岩手県立中央病院

○太田 悠白、近藤 正輝、田中聡一郎、加賀谷裕太、齊藤 大樹、佐藤謙二郎、
金澤 正範、三浦 正暢、遠藤 秀晃、中村 明浩

39 Cycle Length mappingが有用であった左上大静脈遺残を合併した再発性心房細動の1例

東北医科薬科大学 内科学第一 (循環器内科)

○住吉 剛忠、黒瀬 裕樹、長谷川 薫、菊田 寿、関口 祐子、亀山 剛義、
山家 実、小丸 達也、熊谷 浩司

40 両心室ペーシングの妨げとなった β 遮断薬不耐容の洞性頻脈に対しイバブラジンが奏功した重症心不全の一例

岩手県立中央病院 循環器内科

○田中聡一郎、三浦 正暢、太田 悠白、加賀谷裕太、齊藤 大樹、佐藤謙二郎、
金澤 正範、近藤 正輝、遠藤 秀晃、中村 明浩

不整脈2 (第4会場: 2F 第6会議室) 9:40 ~ 10:08

座長: 大和田真玄 (岩手医科大学 内科学講座 循環器内科分野)

座長: 中野 誠 (東北大学大学院 循環器内科学)

41 肺静脈隔離術後における発作性心房細動の再発を植込み型心臓モニタにより確認し得た一例

¹一般財団法人 黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンター

²弘前大学大学院医学研究科 循環器腎臓内科学講座

○廣澤 瞬¹、齋藤 新¹、梅崎 仁志¹、金野 佑基¹、和島 将太¹、
山田奈津美¹、萩井 譲士¹、西崎 公貴²、外山 佑一²、金城 貴彦²、
石田 祐司²、伊藤 太平²、木村 正臣²、佐々木真吾²、富田 泰史²

42 Short-coupled variant of torsade de pointes による失神と考えられた一例

¹大曲厚生医療センター 循環器内科

²秋田大学大学院医学系研究科 循環器内科学講座

○若林 飛友¹、田代 晴生²、鈴木 真由²、工藤 廣大²、岩川 英弘²、
寺田 健²、渡邊 博之²

43 房室回帰性頻拍への冠静脈洞からのアブレーション後に冠静脈洞内巣状興奮を示す心房頻拍を呈した1例

秋田大学大学院医学系研究科 循環器内科学講座

○岩川 英弘、阿部 健、鈴木 暢容、柳澤 和哉、加藤 僚佑、安部 誓也、
田代 晴生、寺田 健、渡邊 博之

44 薬剤使用が困難なPSVT storm に対して緊急カテーテルアブレーションを施行し、根治し得た一例

¹福島県立医科大学 医学部 循環器内科学講座

²福島県立医科大学 医学部 心臓調律制御医学講座

○室田 定洋¹、野寺 穰¹、山田 慎哉^{1,2}、金城 貴士¹、竹石 恭知¹

先天性心疾患（第4会場：2F 第6会議室）10：13～10：48

座長：小渡 亮介（弘前大学 胸部心臓血管外科学講座）

座長：上田 寛修（岩手県立江刺病院 循環器内科）

45 成人期Williams症候群における先天性心疾患の病態と全身合併症の管理

¹岩手医科大学 小児科学講座 小児循環器部門

²みちのく療育園 メディカルセンター 小児科

○齋木 宏文¹、工藤 諒¹、清野 精康¹、高橋 卓也¹、齋藤 寛治¹、
佐藤 啓¹、桑田 聖子¹、中野 智¹、小山耕太郎^{1,2}

46 姑息術のみ行った純型肺動脈閉鎖症の成人例

¹岩手医科大学附属病院 循環器内科

²国立病院機構盛岡医療センター 循環器内科

³かつの厚生病院 循環器内科

○沼崎 大諄^{1,3}、上田 寛修¹、山屋 昌平¹、芳沢美知子¹、熊谷亜希子¹、
高橋 信²、森野 禎浩¹

47 心房中隔欠損に合併した高度三尖弁逆流に対して、spiral suspension法を含む形成術を施行して奏功した一例

岩手医科大学附属病院 心臓血管外科

○八鍬 一貴、山崎 友也、辻 龍典、齋藤 大樹、迫田 直也、田林 東、
泉 淳一、金 一

48 中年期まで生存し得た心内修復術未施行のファロー四徴症の一例

仙台市立病院 循環器内科

○三引 義明、古山 和樹、縄田 遼、鈴木 啓資、鈴木 舞、中潟 寛、
青木 恒介、佐藤 英二、中嶋 壮太、山科 順裕、宮下 武彦、石田 明彦、
八木 哲夫

49 ファロー四徴症術後47年に大動脈弁狭窄症、肺動脈弁狭窄兼閉鎖不全症に対して2弁置換した1例

岩手医科大学 心臓血管外科

○山崎 友也、小泉 淳一、辻 龍典、齋藤 大樹、迫田 直也、田林 東、
八鍬 一貴、金 一

心不全・弁膜症1 (第5会場:1F 第1会議室) 9:00 ~ 9:35

座長: 田村 晴俊 (山形大学医学部 内科学第一講座)

座長: 熊谷亜希子 (岩手医科大学 内科学講座 循環器内科分野)

50 心不全に対してSGLT-2阻害薬とARNIが有効であったTAFRO症候群の一例

仙台医療センター循環器内科

○小倉雄太郎、山口 展寛、渋谷 和之、横山 大樹、高 俊弘、高橋 佳美、
笠原信太郎、江口久美子、玉泷 智昭、尾上 紀子、篠崎 毅

51 人工呼吸器離脱困難な器質性僧帽弁逆流症による重症心不全にMitraClip術施行し救命しえた一例

みやぎ県南中核病院

○森谷 茜、富岡 智子、佐藤 諒弥、石塚 充、小松 茉由、玉那覇有亮、
堀川 達雄、井汲 陽祐、田中 修平、塩入 裕樹

52 TAVI後遠隔期に感染性心内膜炎を発症し、保存的加療により良好に経過した一例

¹東北医科薬科大学病院 循環器内科

²東北医科薬科大学病院 総合診療科

○杵渕 和志¹、亀山 剛義¹、久野 晴貴¹、黒柳 浩志¹、黒瀬 裕樹¹、
長谷川 薫¹、長谷部雄飛¹、菊田 寿¹、住吉 剛忠¹、関口 祐子¹、
前田 真吾¹、山家 実¹、大原 貴裕²、熊谷 浩司¹

53 重症大動脈弁閉鎖不全症に対しBio-bentall術を行い完全房室ブロックを認めペースメーカー植込に至った症例

¹福島県立医科大学附属病院 循環器内科学講座

²福島県立医科大学附属病院 心臓血管外科学講座

○飯田あかね¹、佐藤 彰彦¹、津田 尚彦¹、大河内 諭¹、佐藤 悠¹、
石田 圭一²、清水 竹史¹、佐藤 崇匡¹、金城 貴士¹、及川 雅啓¹、
八巻 尚洋¹、中里 和彦¹、高瀬 信弥²、竹石 恭知¹

54 僧帽弁-大動脈弁間線維結合部仮性瘤を疑った慢性期感染性心内膜炎の一例

¹秋田大学大学院医学系研究科 循環器内科学講座

²大曲厚生医療センター 循環器科

○丹波 佑介¹、佐藤 輝紀¹、高橋 潤¹、鶴沼 真由¹、須藤 佑太¹、
田村 善一²、佐藤 和奏¹、渡邊 博之¹

心不全・弁膜症2（第5会場：1F 第1会議室）9：40～10：15

座長：清水 竹史（福島県立医科大学 循環器内科学講座）

座長：加藤 宗（秋田大学 先進デジタル医学・医療教育学講座）

55 心尖部脱血 Central ECMO の up-grade と長期補助で救命・社会復帰した劇症型心筋炎の一例

¹東北大学 循環器内科

²東北大学 心臓血管外科

○船木 崇裕¹、高濱 博幸¹、新井真理奈¹、林 秀華¹、鈴木 秀明¹、
後岡後太郎¹、片平晋太郎²、高橋 潤¹、齋木 佳克²、安田 聡¹

56 頻拍誘発心筋症による超低心機能・心原性ショックに対し IMPELLA[®] にてが有効であった心不全の一例

青森県立中央病院

○川村 陽介、櫛引 基、千葉 元貴、鹿内 駿、鈴木 晃子、舘山 俊太

57 SGLT 2 阻害薬内服中に高血糖高浸透圧症候群を発症したうっ血性心不全の1例

山形県立中央病院

○渡部 賢、青野 智典、會田 敏、長谷川寛真、佐々木真太郎、大道寺飛雄馬、
高橋 克明、玉田 芳明、福井 昭男、松井 幹之

58 Valsalva 洞限局性大動脈解離に伴う急性大動脈弁閉鎖不全症の一例

みやぎ県南中核病院 循環器内科

○遠藤 貴大、田中 修平、石塚 充、佐藤 諒弥、小松 茉由、玉那覇有亮、
堀川 達雄、井汲 陽祐、塩入 裕樹、富岡 智子

59 TAVI 術後の感染性心内膜炎で加療中に症候性脳梗塞を発症した一例

¹つがる総合病院 循環器・呼吸器・腎臓内科

²大館市立総合病院 循環器内科

○大塚万理乃¹、米倉 学¹、北山 和敬¹、成田 真人²、加藤 千里¹、
阿部 直樹¹

学術セミナー（第1会場：1F 大ホール）11：10～12：00

座長：弘前大学大学院医学研究科 不整脈先進治療学講座 准教授 **木村 正臣**

**「2024年 JCS/JHRS ガイドライン
フォーカスアップデート版
不整脈治療のポイント」**

演者：東北大学病院 循環器内科 講師 **野田 崇**

共催：第一三共株式会社

ランチョンセミナー1（第2会場：2F 小ホール）12：10～13：00

座長：東北大学大学院医学系研究科 循環器内科学分野 教授 **安田 聡**

「リードレスペースメーカーの適応と今後の展望」

演者：一般財団法人 平成紫川会 小倉記念病院 副院長兼循環器内科主任部長 **安藤 献児**

共催：日本メドトロニック株式会社

ランチョンセミナー2 (第3会場: 2F 第3会議室) 12:10~13:00

座長: 福島県立医科大学附属病院 病院長 /
福島県立医科大学 医学部 循環器内科学講座 主任教授 **竹石 恭知**

テーマ: 治療可能な二次性心筋症を見逃さない
~アミロイドーシスをどのように診断し、治療するか~

【講演Ⅰ】

青森県での心アミロイドーシスにおける病病連携

演者: 弘前大学大学院医学研究科 循環器腎臓内科学講座 /
むつ下北地域医療学講座 講師 **石田 祐司**

【講演Ⅱ】

チャンスは待っている人に訪れる ~心アミロイドーシス診断のtips~

演者: 札幌医科大学 循環器・腎臓・代謝内分泌内科学講座 准教授 **矢野 俊之**

共催: アルナイラムジャパン株式会社

ランチョンセミナー3 (第4会場: 2F 第6会議室) 12:10~13:00

座長: 岩手医科大学 内科学講座循環器内科分野 主任教授 /
岩手医科大学附属病院 副院長 **森野 禎浩**

「本邦におけるTAVI 10年の「これまで」と「これから」
~超高齢化社会におけるTAVIを再考する~」

演者: 弘前大学大学院医学研究科 脳卒中・血管内科学講座 准教授 **横山 公章**

共催: エドワーズライフサイエンス合同会社

ランチオンセミナー4（第5会場：1F 第1会議室）12：10～13：00

座長：秋田大学大学院医学系研究科 循環器内科学講座 教授 **渡邊 博之**

【講演Ⅰ】

「腫瘍循環器診療の実践」

演者：福島県立医科大学 医学部 循環器内科学講座 講師 **及川 雅啓**

【講演Ⅱ】

「令和6年版 不整脈診療のアップデート」

演者：岩手医科大学 内科学講座 循環器内科分野 講師 **大和田真玄**

共催：ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社
ファイザー株式会社

教育セッション1（臨床部門）

（第1会場：1F 大ホール）13：50～14：35

座長：弘前大学大学院医学研究科 循環器腎臓内科学講座 教授 **富田 泰史**

「周波数解析による心房細動基質の同定と アブレーション治療への応用」

演者：東北医科薬科大学医学部 循環器内科 教授 **熊谷 浩司**

教育セッション2（基礎部門）

（第1会場：1F 大ホール）14：35～15：20

座長：山形大学医学部 内科学第一講座 教授 **渡辺 昌文**

「今、循環器医も知っておきたい“クローン性造血”：
心血管疾患の新たな治療ターゲット」

演者：福島県立医科大学医学部 循環器内科学講座
地域先端循環器病治療学講座 講師 **三阪 智史**

ダイバーシティフォーラム

（第2会場：2F 小ホール）11：10～12：00

テーマ「仲間の作り方」

座長：秋田大学医学部附属病院 循環器内科学講座 助教 **岩川 英弘**
座長：山形県立中央病院 循環器内科 医長 **渡部 賢**

「不整脈王におれはなる！
ただ、おれは助けてもらわねェと生きていけねェ自信がある！」

演者：日本大学医学部附属板橋病院 循環器内科 准教授 **永嶋 孝一**

成人先天性心疾患セッション

(第3会場：2F 第3会議室) 11:10~12:00

座長：弘前大学大学院医学研究科 医療安全学講座 教授 **大徳 和之**

「先天性心疾患に対するカテーテル治療のTopics」

演者：東京医科大学茨城医療センター 循環器内科 准教授 **金澤 英明**

心不全療養指導士シンポジウム

(第2会場：2F 小ホール) 13:50~15:20

「となりの県では何してる？ 東北6県の心不全療養指導士の活動」

座長：弘前大学大学院医学研究科 循環器腎臓内科学講座 准教授 **佐々木真吾**

座長：弘前大学医学部附属病院 **佐藤 みな** (看護師)

シンポジスト

- | | | |
|-----|--------------|-----------------------------|
| 青森県 | 弘前大学医学部附属病院 | 板矢 一希 (看護師) |
| 岩手県 | 三愛病院 | 藤澤 亮 (理学療法士) |
| 秋田県 | 秋田大学医学部附属病院 | 相原 健志 (看護師) |
| 山形県 | 山形大学医学部附属病院 | 齊藤 愛 (看護師) |
| 宮城県 | 東北大学病院 | 千葉 光葉 (看護師)
補助人工心臓センター兼任 |
| 福島県 | 福島県立医科大学附属病院 | 木村 美保 (看護師) |

審査会・会議

(審査会場：2F 第5会議室)

成人先天性心疾患部会	9：30～10：00
学生・初期研修医 AWARD 審査会	10：00～10：30
心肺蘇生法普及委員会	10：35～10：50
YIA 審査会	11：00～11：20
支部役員会	11：20～11：50

(第1会場：1F 大ホール)

支部社員総会、評議員会、YIA表彰式、 学生・初期研修医 AWARD 表彰式	13：10～13：40
---	-------------

一般社団法人日本循環器学会 支部規程

(総 則)

第1条 この規程は、一般社団法人日本循環器学会（以下「日本循環器学会」という）各地区の支部（以下「各支部」という）の遵守すべき事項を定める。

(事務局)

第2条 各支部の事務局は、日本循環器学会定款施行細則に定める地区に置く。

(目的および事業)

第3条 各支部は日本循環器学会の目的達成のため次の事業を行う。

- 1) 地方会の開催
- 2) 日本循環器学会国際トレーニングセンター（JCS-ITC）としての講習会等の開催
- 3) 日本循環器学会本部からの委託事項の処理
- 4) その他目的の達成に必要な事業

(会 員)

第4条 各支部の会員は、当該地区に所属する日本循環器学会の正会員および準会員とする。

2. 支部名誉会員/支部特別会員/支部顧問等の設置は各支部役員会で定めることとする。

(社 員)

第5条 社員とは、日本循環器学会定款及び定款施行細則に基づき選出された各支部に所属する社員をいう。

(支部長)

第6条 各支部に支部長1名を置く。
2. 支部長は定款に基づき選出された支部所属理事の協議で決定し、支部社員総会において報告する。
3. 支部長は支部を統括する。
4. 支部長の任期は2年とし、再任を妨げない。

(支部役員)

第7条 各支部に支部役員を若干名置く。
2. 支部役員は支部所属理事及び支部長の推薦で選出された会員とし、支部長を除いた支部役員を支部社員総会で承認する。
3. 支部役員は、地方会、事業計画・報告、予算・決算、その他支部長の求めに応じて支部運営にあたる。
4. 支部役員の任期は2年とし、再任は妨げない。

(支部監事)

第8条 各支部に支部監事を若干名置く。
2. 支部監事は支部長が候補者を会員から推薦で選出し、支部社員総会で承認する。
3. 支部監事は支部の監査を行い、不正の事実があれば支部社員総会及び日本循環器学会本部に報告する。
4. 支部監事の任期は2年とし、連続して就任できる期数は3期までとする。

(支部幹事)

第9条 各支部に支部幹事を若干名置く。
2. 支部事務局担当幹事およびJCS-ITC担当幹事の設置は必須とする。
3. 支部幹事は支部長が会員から選出する。
4. 支部幹事は支部長を補佐し、役員会/社員総会において会計報告及びJCS-ITC業務の報告等を行う。
5. 支部幹事の任期は支部長の任期に準じ、再任を妨げない。

(支部評議員)

第10条 各支部に支部評議員を置くことができる。
2. 支部評議員は会員から選出する。
3. 支部評議員は支部業務を補佐する。
4. 支部評議員の選出方法/任期/定年等は各支部役員会で定めることとする。

(地方会会長)

第11条 各地方会に会長1名を置く。
2. 地方会会長は支部役員会の推薦で選出し、支部社員総会において承認する。
3. 地方会会長は地方会を主催し、その経理/事業内容を支部役員会及び支部社員総会に報告する。
4. 地方会会長の任期は、主催地方会にかかる業務が完了するまでとする。

(支部役員会)

第12条 支部役員会は、支部役員で構成する。
2. 支部役員会は年1回以上開催し、主に以下の事項を扱う。
1) 事業計画・事業報告及び予算・決算の承認
2) 地方会会長の選出
3) 支部運営上重要な規則の承認
4) その他本支部の運営に必要な事項の確認（JCS-ITC報告など）
3. 予算もしくは事業計画に大幅な変更が見込まれる場合には臨時支部役員会を開催しなければならない

らない。

4. 支部役員会は支部長が招集し議長となる。ただし支部長に事故あるときは他の支部役員が招集する。この場合、議長は支部役員の協議により選出する。
5. 支部役員会は過半数が出席しなければ、その議事を決議できない。ただし、当該議事につき予め書面をもって意思を表示したもの、および他の支部役員を代理人として表決を委任したものは出席者とみなす。
6. 支部役員会の議事は出席者の多数決をもって決し、可否同数の時は議長の決するところによる。

(支部社員総会)

第13条 支部社員総会は、社員で構成する。

2. 支部社員総会は年1回以上開催し、主に以下の事項を扱う。
 - 1) 事業計画・事業報告及び予算・決算の確認
 - 2) 決定された支部長の確認
 - 3) 支部役員・支部監事・地方会会長の承認または解任
 - 4) 支部運営上重要な規則の確認
 - 5) その他本会の運営に必要な事項（JCS-ITC報告など）
3. 支部社員総会は、支部長が招集し、議長となる。ただし支部長に事故あるときは他の支部役員が招集する。この場合、議長は支部役員の互選により選出する。
4. 支部社員総会は支部社員の過半数が出席しなければ、その議事を決議できない。ただし、当該議事につき予め書面をもって意思を表示したもの、および他の支部会員を代理人として表決を委任したものは出席者とみなす。
5. 支部社員総会の議事は出席者の多数決をもって決し、可否同数の時は議長の決するところによる。

(支部評議員会)

第14条 支部評議員会は、支部評議員で構成する。

2. 支部評議員会は年1回以上開催し、以下の事項の報告を受ける。
 - 1) 予算・決算
 - 2) 事業計画および事業報告
 - 3) 地方会会長及び地方会開催地
 - 4) 支部長の選出結果
 - 5) その他本会の運営に必要な事項（JCS-ITC報告など）
3. 支部評議員会は、支部長が招集し、議長となる。ただし支部長に事故あるときは他の支部役員が招集する。この場合、議長は支部役員の協議により選出する。

(支部事務局業務)

第15条 支部事務局業務とは、支部役員会、支部社員総会、支部評議員会の運営、各事業の補助等をいう。

2. 支部事務局業務は、原則支部年会費収入の範囲内で収支均衡に努めなければならない。
3. 支部事務局業務にかかる経費精算の職務権限について、予算内経費精算は、支部事務局担当幹事による確認を必要(事後確認可)とする。予算枠外使用については、20万円未満が支部長承認、20万円以上が支部役員会承認を事前に必要とする。
4. 各支部は全事業の会計報告を毎月すみやかに本部事務局に報告することとする。

(地方会)

第16条 各支部は地方会を年1回以上開催する。

2. 地方会に演題を提出する者は原則として会員でなければならない。
3. 地方会収支について、原則、収入の範囲内で費用支出を行うこととし、収支均衡に努めなければならない。
4. 地方会において新たな試みを実施する場合は、事前に地方会会長と支部長で協議を行うこととする。
5. 地方会における参加費等の現金取り扱いについて、不正や過誤が発生しない体制を整えなければならない。
6. 地方会の経費精算は、地方会会長もしくは会長が定めた者が内容を確認したうえで実施する。なお全ての精算を原則地方会終了後2ヵ月以内に完了させること。

(JCS-ITC講習会)

第17条 各支部はJCS-ITC講習会をJCS-ITC担当幹事が計画を取り纏め、開催する。

2. 講習会収支について、原則収入の範囲内で費用支出を行うこととし、収支均衡に努めなければならない。
3. JCS-ITC講習会に関わる経費精算の職務権限について、予算内経費精算は、JCS-ITC担当幹事による確認を必要(事後確認可)とする。予算枠外使用については、20万円未満が支部長承認、20万円以上が支部役員会承認を事前に必要とする。

附 則

- 1) 本規則は、平成27年2月1日から試行期間とし、平成28年4月1日から完全実施とする。
- 2) この規程の改廃は日本循環器学会理事会の議決を経なければならない。

支部コンプライアンス・倫理規程

(目的)

第1条 この規程は、一般社団法人日本循環器学会全支部（以下「支部」という）におけるコンプライアンスに関し基本となる事項を定め、もって健全で適正な学会運営及び社会的信頼の維持に資することを目的とする。

(定義)

第2条 この規程において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- 1) コンプライアンスとは、法令、各支部の諸規則を遵守することをいう。
- 2) 支部役職者とは、支部に所属する支部長・支部役員・支部監事・支部幹事・地方会会長をいう。
- 3) 支部職員とは、支部の事務を担当する職員をいう。
- 4) コンプライアンス事案とは、支部の構成員にかかわる法令又は定款等の本学会諸規則や支部会則等に違反、または違反するおそれのある事案をいう。

(支部役職者及び支部職員の責務)

第3条 支部役職者・支部職員は、支部の定める理念および目標を実現するため、それぞれの責任を自覚し、コンプライアンスの重要性を深く認識するとともに、人権を尊重し、高い倫理観を持って行動しなければならない。

2. 支部役職者・支部職員は、次に掲げることを理由として、自らのコンプライアンス違反行為の責任をのがれることはできない。

- 1) 規程について正しい知識がなかったこと
- 2) 規程に違反しようとする意思がなかったこと。
- 3) 支部の利益に資する目的で行ったこと

附 則

- 1) 本規則は、平成27年2月1日から試行期間とし、平成28年4月1日から完全実施とする。
- 2) この規程の改廃は日本循環器学会理事会の議決を経なければならない。

一般社団法人日本循環器学会 東北支部運営内規

平成28年4月1日施行

平成30年6月2日改定

令和2年8月23日改定

令和5年6月3日改定

(総則)

第1条 この内規は、一般社団法人日本循環器学会支部規程を東北支部（以下「本支部」という。）において運用するために必要な事項を規定し、円滑な学会活動を推進することを目的とする。

(支部事務局)

第2条 本支部における支部事務局を支部長が主宰する教室内に設置する。

(支部長・副支部長)

第3条 2年毎に行われる理事選出選挙の後、第6条2項に沿い支部長を決定するが、支部長の任期開始日は理事就任開始日からとする。

2. 支部長は、「支部コンプライアンス・倫理規程」を確認し、その内容を遵守しなければならない。
3. 支部長が本支部とは別の支部に異動した場合、支部長として退任となる。

第4条 本支部に副支部長1名を置く。

2. 副支部長は支部所属理事の中から協議で決定し、支部社員総会において報告する。
3. 支部長に事故あるとき、または支部長が別支部へ異動したとき、副支部長を新たな支部長とする。この場合の任期は、退任した支部長の任期に準ずる。

(支部役員)

第5条 支部役員は、支部規程第7条1項に沿い、支部所属理事の他、支部長推薦枠として本支部においては、会員である東北地区7大学の循環器を担当する内科の教授が就任することとする。その他にも支部役員として必要な人物がいる場合は、支部長が推薦する。

2. 任期中において各大学教授の交代があった場合は役員も変更となるが、就任期間は前任者を引継ぐこととする。
3. 支部役員は、「支部コンプライアンス・倫理規程」を確認し、その内容を遵守しなければならない。

(支部監事)

第6条 支部規程第8条1項に定める支部監事の定数

は、本支部においては2名とする。

2. 支部規程第8条2項に定める支部監事の選出について、本支部においては、支部運営から独立性をもった者を、支部長が候補者を会員から選出することとする。なお独立性を鑑み、支部役員、支部幹事との兼務は不可とする。
3. 支部監事は、「支部コンプライアンス・倫理規程」を確認し、その内容を遵守しなければならない。

(支部幹事)

第7条 支部規程第9条に定める支部幹事は、本支部においては支部事務局担当幹事1名、JCS-ITC担当幹事1名、その他幹事を若干名とし、支部役員、支部評議員との兼務も可能とする。

2. 支部幹事は、「支部コンプライアンス・倫理規程」を確認し、その内容を遵守しなければならない。
3. 支部事務局担当幹事ならびにJCS-ITC担当幹事は、それぞれの業務における月度毎の収支状況をモニタリングし、予算進捗確認を行わなければならない。予算に対し収支悪化の場合は、対策を検討し支部長へ報告すること。また収支改善の場合は、その資金活用方法について検討し支部長へ報告することとする。
4. JCS-ITC業務担当幹事は、会員かつファカルティの中から選出することとする。ファカルティがいない場合は会員かつコースディレクターの中から選出する。
5. 支部幹事は、それぞれの業務において投資が必要な場合は、事業計画、予算において明確化し、支部役員会・支部社員総会において発言し、承認を得なければならない。

(支部評議員)

第8条 支部規程第10条に定める支部評議員は、支部役員1名の推薦により選出し、支部役員会及び支部社員総会において承認する。

2. 候補者は、支部役員会予定日より15日以前に所定の用紙を用いた履歴書、業績書及び支部役員1名が署名・捺印した推薦書を支部長へ提出する。
3. 支部評議委員会に正当な理由なく3回連続して

欠席した者、退会した者、東北地区から移動した者は、支部評議員の資格を喪失する。

4. 支部評議員の任期は4年とし再任は妨げない。
5. 支部評議員の辞職は支部役員会及び支部社員総会において承認する。
6. 支部評議員の期中での辞職については、速やかに補充を行うこととし、支部役員会にて承認した上で、後日支部社員総会において追認する。なお任期は前任者を引継ぐこととする。

(地方会会長)

第9条 地方会会長は、「支部コンプライアンス・倫理規程」に定められた内容を遵守しなければならない。

2. 地方会会長は、「臨床研究の利益相反に関する共通指針の細則」に定められた様式の利益相反の自己申告書を支部長経由で本会へ提出しなければならない。
3. 地方会会長は、地方会開催日程の決定を行う。
4. 地方会の主題および演題の選定および採択は、会長が裁量する。
5. 地方会実施にあたり、会長の推薦にて会長校事務局長を任命してよい。会長校事務局長は、会長からの指示に基づき、地方会運営を補助することとする。
6. 地方会運営にあたる企画会社の選定は、会長一任とするが、企画会社手数料が過多とならないことを事前に確認しなければならない。
7. 地方会開催にあたり収入の受入れ、費用の精算の為、会長名において専用口座を開設しなければならない。口座開設と同時にキャッシュカードを作成する場合は、会長から使用者・保管者を指名し、それ以外のもが利用出来ない体制を構築しなければならない。
8. お届け印、通帳は会長または会長が指名した者が保管する。保管にあたっては必ず施錠し、本人のみが解錠出来る体制としなければならない。

(支部名誉会員)

第10条 支部規程第4条2項に定める支部名誉会員は、東北地区単独の支部社員総会において選任する。

2. 支部名誉会員の被推薦資格は、支部社員総会開催日において年齢65歳以上(当日に65歳を迎える者を含む)の東北支部所属の会員であり、支部評議員を3期以上務めたものとする。
3. 支部名誉会員は、支部評議員会に出席することができる。また、支部社員総会にも出席することができるが議決権は有しない。

4. 支部名誉会員は、支部役員、支部幹事の兼務を不可とする。
5. 支部名誉会員は、永年資格とする。
6. 支部名誉会員の内、東北地方会で会長を務めた者、支部長を務めた者は、支部特別名誉会員と呼ぶ。処遇は支部名誉会員に準用する。

(支部社員総会、支部評議員会)

第11条 支部規程第13条に定める支部社員総会、支部規程第14条の支部評議員会は、同時開催することとする。

(支部事務局業務)

第12条 支部規程第15条における支部事務局業務は、事務局担当幹事を補佐し、円滑に業務を遂行することを目的として、本業務に従事する人員を支部役員会の承認のもと採用しても構わない。雇用条件の変更がある場合は、支部役員会での承認を必要とする。

(地方会)

第13条 支部規程第16条1項に定める地方会について、本支部は原則として毎年2回地方会を開催する。

2. 地方会の名称は、第〇〇回日本循環器学会東北地方会とする。地方会運営に関するその他の事項は地方会運営要領に定めることとする。

(JCS-ITC講習会)

第14条 支部規程第17条1項に定めるJCS-ITC講習会について、本支部はJCS-ITC業務担当幹事との協議により支部事務局において事務業務(受講者への連絡、受講料受付・謝金や立替金の精算等)を行う。なお、これらの事務業務について、円滑に業務を遂行することを目的として、支部役員会の承認のもと、外部業者へ業務委託を行っても構わない。委託範囲・経済条件の変更がある場合は、支部役員会での承認を必要とする。

2. JCS-ITC講習会の事務業務についてはJCS-ITC講習会事務要領に定めることとする。

附則

- 1) この内規は、平成27年2月1日から試行期間とし、平成28年4月1日から完全実施とする。
- 2) この内規改正は、支部役員会において審議し、支部社員総会にて決定する。

一般社団法人日本循環器学会 東北支部 地方会運営要領

平成28年4月1日施行
令和4年12月2日改定

この地方会運営要領は、一般社団法人日本循環器学会東北支部（以下「本支部」という）において地方会を円滑に運営するために必要な事項を規定する。

（広 報）

- 1 地方会会長は、地方会開催日程、会場、地方会会長事務局の担当者が決まり次第、本支部へ報告する。本支部は「地方会開催連絡票」を本会へ提出するとともに、本支部ホームページに情報を掲載することとする。
- 2 本支部地方会に関する事項は、本会の会告及びその他の手段により会員に広報する。

（会 計）

- 3 地方会会長、または、支部事務局担当幹事は、開催前年度の支部役員会・支部社員総会に出席して、本部へ提出予定の地方会予算及び事業計画について事前に承認を得る。また、支部評議員会にて報告を行う。ただし、地方会会長の出席がかなわない場合は代理を立てることができる。
- 4 地方会参加費は、正会員3,000円、コメディカル1,000円、初期研修医無料、学部学生無料とする。参加費を変更する場合は支部役員会での承認を必要とする。
- 5 地方会での寄付の受入は、「寄付金取扱規程」に基づき対応する。なお寄付金受入先について、本会が禁煙宣言を行っている学会であることを鑑み、本会学術集会同様、日本たばこ産業・鳥居薬品からの寄付受入は禁ずる。
- 6 地方会において市民公開講座及び託児室設置を実施する場合は、本支部よりその経費を補助する。ただし、上限を100万円とする。補助金は、経費内訳及び証憑書類の提出を持って交付するものとする。
- 7 地方会において男女共同参画セミナーを実施する場合は、本支部より講師招請経費を補助する。ただし上限を20万円とする。補助金は、経費内訳及び証憑書類の提出を持って交付するものとする。
- 8 地方会開催にあたり開設する金融機関の口座名義は、「一般社団法人日本循環器学会 第〇〇回 東北地方会 会長 〇〇〇〇」とする。

- 9 地方会当日の現金（参加費）の取扱いについて、不正や過誤が発生しないよう関係するスタッフの教育を十分行わなければならない。
- 10 地方会当日に徴収した参加費について、当日中に口座入金するか金庫に保管することとする。地方会終了後、翌営業日には口座入金することとする。
- 11 教育講演の招請者への待遇について、謝金上限は演者100,000円（源泉税抜）、座長50,000円（源泉税抜）、交通費は実費支給とし、地方会当日、直接本人へ現金もしくは振込対応する。これ以外の対応を行う場合は、支部役員会での承認が必要とする。
- 12 地方会で支払われた講演謝金及び会長校スタッフ臨時雇用費の源泉所得税は、地方会会長事務局において納付対応する。なお東北支部事務局から参加したスタッフ臨時雇用費は、東北支部事務局において納付対応する。
- 13 地方会経費の精算は、リスク管理の観点から現金での精算を禁じ、原則請求書対応とする。請求書対応が難しい場合は、企画会社・スタッフによる立替精算を行い、後日レシートや領収書をもとに精算する。
- 14 地方会終了後、余剰金が発生した場合、支部管轄の地方会繰越金専用口座に振り込むこととし、地方会開催に関係無い備品等の購入に充ててはならない。その後、口座は解約する。
- 15 地方会の経費精算は、原則地方会終了後2か月以内に完了させ、入出金に係るすべての証憑を本支部に提出しなければならない。外部の団体から助成金・補助金を受けた場合は、交付決定通知書の控えも提出すること。
- 16 地方会会長は、開催次年度の支部役員会・支部社員総会、支部評議員会に出席して、地方会決算及び事業内容の報告を行う。ただし、地方会会長の出席がかなわない場合は代理を立てることができる。

（会 議）

- 17 支部役員会を地方会当日に開催する。議案書及び議事録は本支部事務局が作成することとする。地方会会長事務局は、本支部の求めに応じて当日の受付及び配布資料の準備等を行う。

- 18 支部社員総会、支部評議員会を地方会当日に開催する。議案書及び議事録は本支部が作成することとする。地方会会長事務局は、本支部の求めに応じて当日の受付及び配布資料の準備等を行う。
- 19 地方会における華美な懇親会の開催を禁じる。

(演題募集)

- 20 地方会会長は、演題募集スケジュールを決定し、「地方会演題募集ホームページ利用申請書」を本会及び本支部へ提出する。演題募集の開始日・締切日は前後に祝日のない火曜日から木曜日で設定すること。申請書の提出期限はオンライン演題募集システム利用開始の2カ月前とする。
- 21 本支部は、オンライン演題募集システムの管理者用ID及びパスワードを地方会会長事務局へ通知する。なお、パスワードについては、本支部が毎年度更新することとし、変更後のパスワードを本会に通知する。
- 22 募集締切日延長等の連絡は、混乱を避けるために必ず本会経由で行うこととする。

(専門医単位登録)

- 23 地方会会長は、詳細が決まり次第「教育セッション開催届」ならびに「DVDセッション開催届」(DVDセッションを開催する場合に限る)を本会及び本支部へ提出しなければならない。
- 24 地方会会長事務局は、地方会時に専門医単位登録(地方会参加5単位、教育セッション参加3単位、DVDセッション参加2単位)を行うこととするが、本会から明示された「単位登録の運営方法について」に沿って対応しなければならない。
- 25 教育セッション及びDVDセッションの専門医単位登録は、不正やミスを防止するため、時間を限定して行わなければならない。(例：セッション開始1時間(又は30分)前から終了30分前)
- 26 DVDセッションについて、同じ内容の講演会を学術集会及びインターネットで聴講したことのある会員は、単位加算ができない。地方会会長は事前にプログラム等でその旨を告知し、当日も会場に掲示すること。

(プログラム・抄録)

- 27 プログラムは、本会会告(偶数月25日発行)への抱き合わせで本支部会員へ発送することができる。希望する場合は、「地方会プログラム

冊子抱合発送申請書」を本会及び本支部へ提出すること。プログラム以外の発送物(チラシ等)があれば、その内容を申請書に明記すること。申請書の提出期限は、会告発行1か月前とする。

- 28 抄録については、冊子発行を行わず本会ホームページに掲載する。本会ホームページへの掲載にあたり、抄録著者による校正は行わない。訂正等がある場合には、地方会終了後速やかに本会へ連絡することとする。なお、地方会会長事務局は、その旨をプログラムに記載し会員に告知すること。
- 29 プログラム完成後、本支部へ2部、本会へ5部を送付すること。
- 30 地方会会長は、抄録データを本会に提出しなければならない。当日発表されなかった演題は抄録データとして扱わない。

(演題発表)

- 31 地方会演者は、発表前のスライドにおいて定められた様式「利益相反の自己申告書」を提示する必要がある。
- 32 日本循環器学会東北地方会 Young Investigator's Awardについて
 - 1) 当支部は、東北地区の循環器病学の発展と優秀な若手循環器専門医の育成を目的として、「日本循環器学会東北地方会 Young Investigator's Award」(東北地方会 YIA「症例発表部門」「研究発表部門」)を設ける。
 - 2) 東北地方会 YIA の応募資格、応募方法、演題応募要領は以下に記載する。ただし、地方会主催の当番校会長の裁定をもって変更は許可されるものとする。

①応募資格

日本循環器学会員であり、各地方会開催日において満35歳以下または卒後10年以下の方。

東北地方会において過去にYIAを受賞した者は、最優秀賞・優秀賞を問わず、同じ部門への再応募はできない。他部門への申請は可とする。

②対象演題

日本循環器学会東北地方会で行われた循環器学に関する臨床・基礎研究、且つ、症例報告を受け付ける。発表時点で印刷公表されていない演題内容を対象とする。ただし、応募者は筆頭演者でありその内容に中心的役割を果たしたものであることを必要とする。他の学会賞への応募と重複しないこととし、各部

門毎に1施設2題（ただし1科1演題）までの応募とする。本YIAは症例発表部門と研究発表部門それぞれで選考と表彰を行う。

③選考方法

地方会演題募集時にYIA応募希望を募り、地方会開催時には希望演題のみを対象とするYIAセッションを設ける。選考委員は本セッションに参加し、引き続き開催されるYIA審査委員会において厳重な審査を行う。症例発表部門と研究発表部門それぞれで最優秀賞1名および優秀賞若干名選定する。なお、希望演題数が各部門5題を超えた場合は、予め選考委員による第一次審査を行う。

④会長奨励賞

YIA希望演題の内、一般病院の演題から1題を会長奨励賞としてあらかじめ選出しておき、当日表彰が行われる旨を演者に通知する。ただし、この演題がYIA最優秀賞または優秀賞に選出された場合はYIAを優先し、その回の会長奨励賞はなしとする。

⑤応募方法

一般演題応募と同様に日本循環器学会ホームページより登録。Young Investigator's Award応募希望者は応募資格を確認のうえ、「YIAに応募する」にチェックを入れ、症例発表部門と研究発表部門のどちらに応募するかを予め明記する。

⑥賞

部門毎に最優秀賞1名（賞金10万円）および優秀賞若干名（賞金5万円）と表彰状。同点の場合は要検討とする。会長奨励賞は1名（賞金5万円と表彰状）。

⑦締切り

一般演題締切日と同日とする。一次審査後採択されなかった場合は、自動的に一般演題に採択される。

3) YIA選考委員会は大会長を選考委員長として、各県大学の循環器内科教授6名と大会長が選出する6名の選考委員の計12名で構成される。ただし、宮城県に於いては東北大学と東北医科薬科大学の教授が交代で務めることとする。選考委員に代理を置く場合は、教授選考員の場合は教室の准教授または講師に委託し、その他の6名の選考委員については大会長が再度選出する。

33 日本循環器学会東北地方会 学生・初期研修医AWARDについて

1) 当支部は、東北地区の循環器病学の発展と優秀な若手循環器専門医の育成を目的として、

「日本循環器学会東北地方会 学生・初期研修医AWARD」を設ける。

2) 東北地方会 学生・初期研修医AWARDの応募資格、応募方法、演題応募要領は以下に記載する。ただし、地方会主催の当番校会長の裁定をもって変更は許可されるものとする。

①応募資格

各地方会開催日において学生・初期研修医の方（日循会員の有無は不問）。

東北地方会において過去に学生・初期研修医AWARDを受賞した者は、再応募はできない。

②対象演題

筆頭演者である応募者が担当医として治療を行った症例報告もしくは重要な役割を果たした研究で、演題募集締切日までに他の学会で未発表かつ印刷公表されていない演題内容を対象とする。他の学会賞への応募と重複しないこととし、1施設2題（ただし1科1演題）までの応募とする。

③選考方法

地方会演題募集時に学生・初期研修医AWARD応募希望を募り、地方会開催時には希望演題のみを対象とするセッションを設ける。選考委員は本セッションに参加し、引き続き開催される審査委員会において厳重な審査を行う。なお、希望演題数が5題を超えた場合は、予め選考委員による第一次審査を行う。

④応募方法

一般演題応募と同様に日本循環器学会ホームページより登録。学生・初期研修医AWARD応募希望者は応募資格を確認のうえ、「学生・初期研修医AWARDに応募する」にチェックを入れ応募する。

⑤賞

最優秀賞1名（賞金10万円）および優秀賞若干名（賞金5万円）と表彰状。同点の場合は要検討とする。

⑥締切り

一般演題締切日と同日とする。一次審査後採択されなかった場合は、自動的に一般演題に採択される。

3) 研修医AWARD選考委員会は会長校の准教授を選考委員長として、各県大学の循環器内科准教授／講師／助教より6名と、大会長が選出する6名の選考委員（循環器専門医研修施設より選出）の計12名で構成される。た

だし、宮城県に於いては東北大学と東北医科薬科大学の准教授が交代で務めることとする。

(その他)

- 34 会員への印刷物送付等の必要が生じた場合、本会へ「会員名簿・あて名作成依頼書」を提出して会員名簿及び宛名ラベルを請求することができる。会員情報のデータでの受け取りは原則不可とするが、例外的に申請する場合は、誓約書に会長の署名及び捺印が必要となる。
- 35 地方会開催校については、公平を期すため各県で順番に開催する。なお、その順番等の変更については、支部役員会にて決定する。

附 則

- 1) この要領は、平成27年2月1日から試行期間とし、平成28年4月1日から完全実施とする。
この要領改正は、支部長の判断に基づき、支部事務局にて変更して良い。なお、変更時は、支部役員会での追認が必要となる。

一般社団法人日本循環器学会 東北支部 JCS-ITC 講習会事務要領

この事務要領は、一般社団法人日本循環器学会東北支部事務局において JCS-ITC 事務業務（受講料受付・謝金や立替金の精算 等）を行うために必要な事項を規定する。

日本循環器学会はAHA（アメリカ心臓協会）と契約し、心肺蘇生法の教育を行う JCS-ITC（国際トレーニングセンター）を開設している。循環器専門医は心停止や心停止前後での蘇生や心拍再開後の集中治療を必要としていることから、AHA ACLS（二次救命救急措置）の資格取得を受験の条件としている。

また、医療従事者や一般市民向けのコースも開催しており、地域の救命率向上を目指していることから支部にてコース運営を行っており、それに付随する事務業務も支部事務局にて行っている。

※支部運営内規 第6条3にて定められる JCS-ITC 業務担当幹事はファカルティから選出される。

ファカルティは各コースの運営統括責任者であり、新たなインストラクターを教育する立場である。

1. 年4回のインストラクター一覧更新時に、本会事務局より受領したインストラクター一覧を支部長ならびに幹事に提出すること。
2. コース開催日程は、支部ホームページに掲載することとする。
3. コース募集期間中、コースディレクター（以下、CDと略す）と連携を取り、受講者からの問い合わせ対応を行うこと。
4. 下記内容についての受講者への連絡を行うこと。
採択通知、追受講者の代理登録（CDより指示があった場合）、会場変更、コース中止
5. 講習会管理システムから受講者を確認し、受講者からの受講料入金確認を行うこと。規定日までに入金を確認できない場合には、入金督促を行うこと。
6. 受講者より受講料領収書の発行依頼があった場合の発行手続きを行うこと。
7. 支部担当者が交代する場合には業務内容を明確の上、後任者へ引継ぎを行い、業務に支障が生じないようにすること。また支部担当者が急病等で業務を行えない場合は、事務局担当幹事より JCS-ITC 業務幹事に速やかに連絡をし、JCS-ITC 業務幹事と支部長において今後の対応を検討すること。
8. 業務管理を明確化することを目的として、

JCS-ITC 業務専用の口座を開設してよい。

9. 専用口座は、通帳管理者・印鑑管理者・キャッシュカード使用者（作成している場合のみ）を明確にし、一覧にして支部長へ提出しなければならない。（一覧に変更が生じた場合は随時、見直しを行い更新の上、提出する。）
10. 専用口座の通帳、印鑑は、使用者が施錠出来る場所に必ず保管しなければならない。また、キャッシュカード、パスワードについては使用者が変更となる度に更新しなければならない。
11. コース開催時にコースディレクター等が昼食代等の立替精算をした場合、必ず領収書（レシート可）を入手し、何を購入し、何に利用したのか、誰が立替えたのか、分かるように領収書に記載（メモ書き可）の上、支部事務局へ提出すること。なおコース運営が参加者の受講料から成り立っていることを鑑み、不必要な経費支出は行ってはならない。
12. コース終了後、コースディレクターは参加インストラクター・タスクと各自立替えたコース開催地までの交通費について、支部事務局へ報告しなければならない。支部事務局はコースディレクターからの報告に基づき、インストラクター・タスク一覧を作成する。
13. 各コースディレクターがコースに必要な資金を前に仮払金として引出して使用する場合は、予め仮払金申請書を作成し、JCS-ITC 業務担当幹事のメール承認を要する。
なお、JCS-ITC 業務担当幹事がコースディレクターとなる場合は、支部長のメール承認を要する。
14. 経費精算において、振込対応では無く、上記の仮払金を活用し現金にて謝金精算や立替精算を行う場合は、必ず受領者から支部宛ての領収書を頂き、証憑として支部事務局へ提出しなければならない。
15. 支部事務局は、インストラクター・タスク一覧、提出された旅費申請書、領収書等に基づき、謝金（交通費・宿泊費含む）・立替金の精算を行う。また謝金源泉税分の納税を行う。（謝金金額については本会、救急医療委員会において定められたとおりとする。また旅費申請書、領収書等の証憑が無いものの精算は出来ない。）
16. 支部事務局は、収入・経費を取極め（漏れが無いこと、経費使用理由等が明確であること等を再確認）の上、本部事務局へ提出し会計ソフト

への入力を依頼する。

17. JCS-ITC 講習会運営専用口座で余剰金が1000万円を超えた場合、支部のJCS-ITC 講習会専用口座に資金を移行する。

附 則

- ・この要領は、平成27年2月1日から試行期間とし、平成28年4月1日から完全実施とする。
- ・この要領改正は、支部役員会での決定を必要とする。

日本循環器学会東北地方会 Young Investigator's Award 会則

平成28年4月1日施行

平成30年6月2日改定

1. 日本循環器学会東北支部は、東北地区の循環器病学の発展と優秀な若手循環器専門医の育成を目的として、「日本循環器学会東北地方会 Young Investigator's Award」(東北地方会 YIA) を設ける。
2. 本会則は平成21年2月14日に開催される第147回東北地方会から有効とし、本会則の変更は総会で審議・決定される。
3. 東北地方会 YIA の応募資格、応募方法は演題応募要領に記載するが、地方会主催の当番校会長の裁定をもって変更は許可されるものとする。
4. YIA 選考委員会は大会長を選考委員長として、各県大学の循環器内科教授6名と大会長が選出する6名の選考委員の計12名で構成される。ただし、宮城県に於いては東北大学と東北医科薬科大学の教授が交代で務めることとする。選考委員に代理を置く場合は、教授選考員の場合は教室の准教授または講師に委託し、その他の6名の選考委員については大会長が再度選出する。

日本循環器学会東北地方会 Young Investigator's Award (東北地方会 YIA) 演題応募要領

趣 旨

日本循環器学会東北支部は、東北地区の循環器病学の発展と優秀な若手循環器専門医の育成を目的として、「日本循環器学会東北地方会 Young Investigator's Award」(東北地方会 YIA) を設け、毎回の東北地方会において、優秀演題の表彰を行う。

応募資格

日本循環器学会員であり、各地方会開催日において満35歳以下または卒後10年以下の方。
東北地方会において過去に YIA を受賞した者は、最優秀賞・優秀賞を問わず、同じ部門への再応募はできない。他部門への申請は可とする。

対象演題

日本循環器学会東北地方会で行われた循環器学に関する臨床・基礎研究、且つ、症例報告を受け付ける。発表時点で印刷公表されていない演題内容を対象とする。ただし、応募者は筆頭演者でありその内容に中心的役割を果たしたものであることを必要とする。他の学会賞への応募と重複しないこととし、各部門毎に1施設2題(ただし1科1演題)までの応募とする。本 YIA は症例発表部門と研究発表部門それぞれで選考と表彰を行う。

選考方法

地方会演題募集時に YIA 応募希望を募り、地方会開催時には希望演題のみを対象とする YIA セッションを設ける。選考委員は本セッションに参加し、引き続き開催される YIA 審査委員会において厳重な審査を行う。症例発表部門と研究発表部門それぞれで最優秀賞1名および優秀賞若干名選定する。なお、希望演題数が各部門5題を超えた場合は、予め選考委員による第一次審査を行う。

会長奨励賞

YIA 希望演題の内、一般病院の演題から1題を会長奨励賞としてあらかじめ選出しておき、当日表彰が行われる旨を演者に通知する。ただし、この演題が YIA 最優秀賞または優秀賞に選出された場合は YIA を優先し、その回の会長奨励賞はなしとする。

応募方法

一般演題応募と同様に日本循環器学会ホームページより登録。Young Investigator's Award 応募希望者は応募資格を確認のうえ、「YIA に応募する」にチェックを入れ、症例発表部門と研究発表部門のどちらに応募するかを予め明記する。

賞

部門毎に最優秀賞1名(賞金10万円)および優秀賞若干名(賞金5万円)と表彰状。同点の場合は要検討とする。

会長奨励賞は1名(賞金5万円と表彰状)。

締 切

一般演題締切日と同日とする。一次審査後採択されなかった場合は、自動的に一般演題に採択される。

日本循環器学会東北地方会学生・初期研修医 AWARD 会則

2019年12月1日施行

2021年6月5日改定

1. 日本循環器学会東北支部は、東北地区の循環器病学の発展と優秀な研修医の育成を目的として、「日本循環器学会東北地方会学生・初期研修医 AWARD」を設ける。
2. 本会則は2019年6月1日に開催される第168回東北地方会から有効とし、本会則の変更は総会で審議・決定される。
3. 東北地方会学生・初期研修医 AWARD の応募資格、応募方法は演題応募要領に記載するが、地方会主催の当番校会長の裁定をもって変更は許可されるものとする。
4. 研修医 AWARD 選考委員会は会長校の准教授を選考委員長として、各県大学の循環器内科准教授／講師／助教より6名と、大会長が選出する6名の選考委員（循環器専門医研修施設より選出）の計12名で構成される。ただし、宮城県に於いては東北大学と東北医科薬科大学の准教授が交代で務めることとする。

日本循環器学会東北地方会 学生・初期研修医 AWARD

演題応募要領

趣 旨

日本循環器学会東北支部は、東北地区の循環器病学の発展と優秀な若手循環器専門医の育成を目的として、「日本循環器学会東北地方会 学生・初期研修医 AWARD」を設け、毎回の東北地方会において、優秀演題の表彰を行う。

応募資格

各地方会開催日において学生・初期研修医の方（日循会員の有無は不問）。

東北地方会において過去に学生・初期研修医 AWARDを受賞した者は、再応募はできない。

対象演題

筆頭演者である応募者が担当医として治療を行った症例報告もしくは重要な役割を果たした研究で、演題募集締切日までに他の学会で未発表かつ印刷公表されていない演題内容を対象とする。他の学会賞への応募と重複しないこととし、1施設2題（ただし1科1演題）までの応募とする。

選考方法

地方会演題募集時に学生・初期研修医 AWARD 応募希望を募り、地方会開催時には希望演題のみを対象とするセッションを設ける。選考委員は本セッションに参加し、引き続き開催される審査委員会において厳重な審査を行う。なお、希望演題数が5題を超えた場合は、予め選考委員による第一次審査を行う。

応募方法

一般演題応募と同様に日本循環器学会ホームページより登録。学生・初期研修医 AWARD 応募希望者は応募資格を確認のうえ、「学生・初期研修医 AWARD に応募する」にチェックを入れ応募する。

賞

最優秀賞 1 名（賞金10万円）および優秀賞若干名（賞金5万円）と表彰状。同点の場合は要検討とする。

締 切

一般演題締切日と同日とする。

一次審査後採択されなかった場合は、自動的に一般演題に採択される。

第178回 日本循環器学会東北地方会 YIA 審査委員

(敬称略)

青 森

弘前大学大学院医学研究科 循環器腎臓内科学講座
つがる総合病院 循環器・呼吸器・腎臓内科

富田 泰史
阿部 直樹

岩 手

岩手医科大学 内科学講座 循環器内科分野
岩手県立二戸病院 循環器内科

森野 禎浩
西山 理

秋 田

秋田大学大学院医学系研究科 循環器内科学講座
いいの内科クリニック

渡邊 博之
飯野 健二

山 形

山形大学医学部 内科学第一講座
山形県立中央病院 循環器内科

渡辺 昌文
福井 昭男

宮 城

東北大学大学院医学系研究科 循環器内科学
仙台オープン病院 循環器内科

安田 聡
浪打 成人

福 島

福島県立医科大学医学部 循環器内科学講座
大原総合病院 循環器内科

竹石 恭知
齋藤 修一

第178回 日本循環器学会東北地方会 学生・初期研修医 AWARD 審査委員

(敬称略)

青 森

弘前大学大学院医学研究科 循環器腎臓内科学講座
青森県立中央病院 循環器内科

佐々木真吾
櫛引 基

岩 手

岩手医科大学 医学教育学講座 地域医療学分野
岩手県立胆沢病院 循環器内科

伊藤 智範
八木 卓也

秋 田

秋田大学大学院医学系研究科 医学教育学講座
市立秋田総合病院 循環器内科

長谷川仁志
藤原 敏弥

山 形

山形大学医学部 内科学第一講座
公立置賜総合病院 循環器内科

渡邊 哲
新関 武史

宮 城

東北大学病院 循環器内科
仙台市立病院 循環器内科

神戸 茂雄
八木 哲夫

福 島

福島県立医科大学医学部 循環器内科学講座
福島赤十字病院 循環器内科

八巻 尚洋
大和田尊之

日本循環器学会東北支部役員（令和5年6月現在）

（敬称略）

支 部 長	渡辺 昌文（山形大学）				
副 支 部 長	安田 聡（東北大学）				
理 事	渡辺 昌文（山形大学）	安田 聡（東北大学）			
支 部 役 員	竹石 恭知（福島県立医科大学）	森野 禎浩（岩手医科大学）			
	富田 泰史（弘前大学）	金 一（岩手医科大学）			
	渡邊 博之（秋田大学）	飯野 貴子（きびら内科クリニック）			
	齋木 佳克（東北大学）	堀内 久徳（東北大学）			
	安田 聡（東北大学）	熊谷 浩司（東北医科薬科大学）			
	富岡 智子（みやぎ県南中核病院）	渡辺 昌文（山形大学）			
名誉特別会員	伊藤 宏 白土 邦男	平 則夫 中村 元行	丸山 幸夫		
	久保田 功 下川 宏明	小丸 達也			
名誉支部員	青木 孝直 芦川 紘一	阿部 芳久 池田こずえ	池田 精宏		
	石出 信正 石橋 敏幸	伊藤 貞嘉 猪岡 英二	今井 潤		
	大和田憲司 岡林 均	金谷 透 小熊 正樹	長内 智宏		
	小野 幸彦 加賀谷 豊	門脇 謙 金澤 正晴	金塚 完		
	上月 正博 木島 幹博	小岩 喜郎 後藤 敏和	小林 政雄		
	齋藤 公男 齊藤 崇	齋藤 富善 佐々木 弥	貞弘 光章		
	佐藤 昇一 佐藤 匡也	瀨川 郁夫 高松 滋	立木 楷		
	田巻 健治 田代 敦	田村 芳一 野崎 英二	福田 幾夫		
	藤野 安弘 前原 和平	三国谷 淳 室井 秀一	元村 成		
	盛 英機 保嶋 実	柳澤 輝行 山本 文雄	渡辺 毅		

支 部 評 議 員	各県ごと五十音順、○印は社員（旧：全国評議員）					
青 森	阿部 直樹 木村 正臣	榎引 基 ○佐々木真吾	齋藤 新			
	大徳 和之 ○富田 泰史	萩井 謙士 花田 裕之	松井 宏光			
	皆川 正仁 森 康宏	横田 貴志 横山 公章				
岩 手	石田 大 ○伊藤 智範	遠藤 秀晃 大和田真玄	木村 琢巳			
	○金 一 熊谷亜希子	小松 隆 高橋 智弘	中村 明浩			
	西山 理 房崎 哲也	三浦 正暢 ○森野 禎浩	八木 卓也			
秋 田	飯野 健二 ○飯野 貴子	小坂 俊光 阪本 亮平	佐藤 輝紀			
	佐藤 誠 鈴木 智人	鈴木 泰 関 勝仁	武田 智			
	寺田 健 豊野 学朋	長谷川仁志 藤原 敏弥	堀口 聡			
	松岡 悟 ○渡邊 博之					
山 形	有本 貴範 池野栄一郎	内田 徹郎 佐藤 匡	穴戸 哲郎			
	菅原 重生 須藤 直行	高橋 大 新関 武史	西山 悟史			
	野崎 直樹 廣野 摂	福井 昭男 松井 幹之	宮本 卓也			
	宮脇 洋 ○渡邊 哲	○渡辺 昌文				
宮 城	伊藤 健太 岩渕 薫	大原 貴裕 川本 俊輔	菊地 翼			
	熊谷 浩司 ○齋木 佳克	西條 芳文 佐藤 公雄	○篠崎 毅			
	白戸 崇 ○高橋 潤	高濱 博幸 建部 俊介	○富岡 智子			
	中野 誠 浪打 成人	野田 崇 後岡広太郎	羽尾 清貴			
	○堀内 久徳 矢尾板信裕	○安田 聡 山本 沙織	山家 智之			
福 島	石田 隆史 及川 雅啓	大和田尊之 金城 貴士	國井 浩行			
	小林 淳 小松 宣夫	齋藤 修一 杉 正文	杉本 浩一			
	○竹石 恭知 武田 寛人	○中里 和彦 福島 賢慈	八巻 尚洋			
	横山 斉 義久 精臣					
支 部 監 事	那須 雅孝 前原 和平					
支 部 幹 事	支部事務局担当幹事	： 渡邊 哲（山形大学）				
	支部幹事	： 有本 貴範（山形大学）				
	JCS-ITC講習会担当幹事	： 花田 裕之（弘前大学）				

日本循環器学会東北支部 各種委員会 委員名簿 (令和5年12月現在)

(敬称略)

* 委員長

ダイバーシティ推進委員 (旧 男女共同参画委員)

*西崎 史恵 (青森)	相馬 宇伸 (青森)	小島 香 (岩手)	那須 崇人 (岩手)
岩川 英弘 (秋田)	梅田 有理 (秋田)	有本 貴範 (山形)	渡部 賢 (山形)
齋藤 悠司 (山形)	富岡 智子 (宮城)	西宮 健介 (宮城)	佐藤 遥 (宮城)
黒沢 雄太 (福島)	菅原由紀子 (福島)		

オブザーバー

熊谷亜希子 (岩手)	八木 卓也 (岩手)	後岡広太郎 (宮城)	杉 正文 (福島)
------------	------------	------------	-----------

心肺蘇生法普及委員

花田 裕之 (青森)	西崎 史恵 (青森)	鈴木 智人 (秋田)	深堀 耕平 (秋田)
及川 浩平 (岩手)	照井 克俊 (岩手)	*渡辺 昌文 (山形)	宮本 卓也 (山形)
須貝 孝幸 (山形)	篠崎 毅 (宮城)	羽尾 清貴 (宮城)	水上 浩行 (福島)
佐藤 悠 (福島)			

成人先天性心疾患部会委員

大徳 和之 (青森)	大谷 勝記 (青森)	金城 貴彦 (青森)	高木 大地 (秋田)
豊野 学朋 (秋田)	寺田 健 (秋田)	小泉 淳一 (岩手)	齋木 宏文 (岩手)
上田 寛修 (岩手)	水本 雅弘 (山形)	安孫子雅之 (山形)	西山 悟史 (山形)
*齋木 佳克 (宮城)	帯刀 英樹 (宮城)	多田 憲生 (宮城)	建部 俊介 (宮城)
若松 大樹 (福島)	桃井 伸緒 (福島)	及川 雅啓 (福島)	